

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生(三年生)
	キュマイラ					
オプション			年齢	17	性別	女
覚醒	生誕	衝動	破壊	初期侵食率	36	%
出自	待ち望まれた子	経験	記憶喪失	邂逅	忘却	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	51
肉体	6	1	0			7	行動値	4
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	4
精神	0	0	2			2	戦闘移動	9
社会	2	0	0			2	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	7		射撃			RC	2		交渉		
回避	4		知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:(情報:UGN)	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
(武器)素手	白兵	7r+7	0(1)	1(9)		()内は破壊の爪使用後
全力攻撃	白兵	11r+7	1	21+3D		完全+剛身+爪→神獣撃 使用後完全解除

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0	
コネ: UGN幹部						
ロイス		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイマス	消費
		ロイス: 羅刹(タイラント)	P	N		
		上杉 朝秀[トモヒデ]	P○幸福感	N 脅威		
		須田 満[スタミル]	P○信頼	N 疎外感		
			P	N		
			P	N		
			P	N		
			P	N		
			P	N		
最大財産P:		4	残り財産P:		3	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンソレイト:キュマイラ*	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: クリティカル値をLv分下げる								
獣の力	3	2	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果: <白兵>攻撃力+[Lv*2]								
神獣撃	1	2	メジャー	武器	単体	対決	80↑	
効果: 《完全獣化》時のみ 攻撃力+[Lv+2]D								
完全獣化*	3	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 【肉体】判定ゲイ+ [Lv+2] 個 装備不可								
剛身獣化*	3	6	マイナー	至近	自身	自動	ピュア	
効果: 攻撃力+[Lv*2]、装甲値+[Lv*3]								
破壊の爪	2	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 素手データ→命中:0 攻撃力:[Lv+8] G値:1								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 戦闘移動。離脱可。封鎖無効。1シーンLv回。								
軍神の守り*	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 行動済にならないカバーリング。1メインプロセス1回。								
巨人の生命	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 最大HP+[Lv*5]。浸蝕率基本値+3。								
増腕	2	2	メジャー	武器	範囲<選択>	対決	ピュア	
効果: 攻撃対象を「範囲<選択>」へ。1シーンLv回。								
猫の瞳	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 暗視								
獣の直感	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 天候や地震の予測ができる								
海の恩恵	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 水中ペナルティを受けない								

◆性格・設定
 珈胡支部所属のUGNチルドレン。
 天真爛漫で単純明快な高校三年生。少々おつむが弱い前向き少女。
 基本的に人懐っこく、誰にでもフレンドリーに話しかける怖いもの知らず。
 無知ゆえに純粋で率直。思ったことは悪気なしに何でも言うし、教えられた事をそのまま吸収していく。
 頭脳労働よりも肉体労働が好き。
 ひとつのことに夢中になると周りが見えなくなる。

◆過去
 生まれつきのオーヴァード。幼少のころからRCを叩きこまれていたので、扱いはそれなり。
 両親がFHで、自動的に巴も所属していた。
 その組織としての活動がどんなものなのかも知らずに、ただ純粋にキュマイラの力を振るっていた。
 力を使うと両親が褒めてくれたので(現在はその頃の記憶は臆げであるが)、自分の力を誇りに思っている。

両親や仲間とともにFHの任務に出掛けたある日、仲間のジャームが暴走し、両親が死んでしまう。
 暴走ジャームに襲われかけ、そこを運よくUGNに保護された。
 精神的なショックが大きく、巴自身がジャーム化という最悪の可能性を回避すべく、
 UGNはやむを得ず、巴の幼少期の記憶を消去する判断を下した。
 現在は、事件の時に救ってくれた人物の一人「須田 満」が親代わりとなっており、難なく日常生活を送っている。
 表向きは「巴はジャームに襲われ、その時のショックで記憶喪失。満身創痍の両親が巴をUGNに預けた。両親も一命を取り留め、どこかで生きています。」としているようだ。
 「ご両親は巴の安全を願ってUGNに預けたの。生きていれば、いつか会えるわ。」と須田から言い聞かされ、納得して育ってきたが、

